

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	道路側溝補修事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系事業		担当課	道路課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 新基本計画	施策等	6 都市基盤		23 道路		1 円滑に移動できる道路を整備します				
			重点事業		実施計画事業						
	予算区分	款	8	項	2	目	2	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	目的	何・誰を対象に	市民・道路利用者								
		どの様な状態にするのか	側溝等の老朽化による破損や排水不良を補修・再整備し、安全な道路環境を持続させる。								
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>◆27年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の機能を保全し交通の安全を確保するため、側溝等の補修・再整備を測量設計委託、請負工事により実施した。 ・職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。 <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】（委託料: 35, 229千円） 測量設計委託 28路線 L= 3, 610m</p> <p>【工事内容】（工事請負費: 232, 936千円） 側溝整備工事等 39路線 L=2, 992m</p> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】（委託料: 41, 000千円） 測量設計委託 28路線 L= 3, 210m</p> <p>【工事内容】（工事請負費: 271, 000千円） 側溝整備工事等 31路線 L=3, 460m</p>									
受益者負担	無										

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	317,540	276,089	268,165
正職員			従事者数	人	0.99	0.99	0.99	0.99
			人件費	千円	5,445	5,445	5,445	5,445
その他職員			従事者数	人	0.00		0.00	0.00
			人件費	千円	0		0	0
費用合計			千円	322,985	281,534	273,610	317,445	
対前年比		%		87.1	97.1	116.0		
財源	一般財源		千円	318,485	277,034	269,110	317,445	
	国・県支出金		千円	4,500	4,500	4,500	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	側溝補修延長	m	目標	3,937	3,750	3,510
実績				3,930	3,691	3,602	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	側溝補修延長	m	目標	3,937	3,750	3,510	3,460
			実績	3,930	3,691	3,602	
			目標				
実績							

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	平成27年度においては、不測の事態が生じることなく順調に事業が進んだことから、目標どおりに事業は進捗した。				
		事業実施における課題	地域からの整備要望は多いため、今後の物価や資材の高騰により、整備延長は縮小しなければならない懸念がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	昭和40年代に整備された団地造成による側溝の老朽化が進んでいるため、安心安全な道路環境に影響が出ると思われる。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	前年度に工事設計を発注することにより、整備区間住民の工事に関する理解を得ると共に、土地境界問題の事前把握が出来ることにより、工事発注後のトラブルによる工事中止などのリスクを低く抑えることが出来る。				
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	地元要望(区長申請等)に順次対応していること、また整備により生活環境の増進や安全通行の確保が図られていることから現状維持と判断した。					
	29年度以降の改善案	限られた予算内での執行となるため、地元調整を綿密にすることにより、必要最小限でより効果的な整備となるような事業化を進める。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。